

# 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市沼垂西3丁目  
電話(243)0141  
21年7月12日

## 感染症対策しながら各支部で支部総会を開催、交流すすみ来年度の飛躍を誓い合う

### 「困った時の民商」を実感し関屋支部総会へ

関屋支部は2日、会員のお店「飛鳥」を会場に支部総会を開催し10名が参加しました。近藤支部長は「副市長がお店に食べに来た際、窮状を訴えたが『財政が厳しい』との事。感染症禍で困った時の民商を痛烈に実感した」と挨拶。野上会長からは「会外にも給付金の申請等で助けて欲しい人はたくさんいる。『民商に相談して』と呼び掛けて欲しい」と挨拶がありました。来賓の野本前市会議員は「都議選で五輪は中止し感染症収束に全力を訴えている。60歳以下のワクチン接種がワクチン不足でスケジュール変更を余儀なくされた」と報告がありました。



今回、大酒飲みによつちゃん(燻製居酒屋・便利屋)が宴会部長に就任。リクエストしたクジラ汁を満喫し、「支部長はそば屋なのにネギ嫌い」など話は尽きず、あつという間に閉会時間となりました。

### 新体制で支部の発展を〜石山支部へ

石山支部は25日に支部総会を開催。来賓に飯塚孝子市議を迎え、13名が出席しました。伊藤隆支部長は挨拶で「消費税インボイス制度が実施により免税業者などインボイス制度の廃止ができるかは今年の選挙にかかっている。また、全商連70周年レセプションに向けての会員・読者拡大に協力してほしい」と協力を訴えました。石山支部は今回の総会で支部長を若手の役員・市橋雅彰さんに交代しました。市橋新支部長は「先輩方がいる間に、新しい役員を迎え入れ、支部を発展させていきたい」と意気込みを語りました。



### 日程

- ・7月18日 新潟民商第74回定期総会
- ・7月19日 新潟民商共済会三役会
- ・7月20日 新潟民商婦人部三役会

### インボイス制度なんてとんでもない！ 〜駅前支部総会へ

駅前支部は1日、支部総会を会員のお店「酒房 卯月」にて開催し9名が参加しました。

総会の前段には松本副会長を中心に消費税インボイス制度の説明が行われ、参加者から「感染症禍で時短・自粛営業を余儀なくされ、地域が疲弊する下でもインボイス制度に対応できる状況ではない！」などの声が出されました。その後は総会が開会され、新支部長に小池さん、副支部長に河原さんが提案され承認されました。新支部長の小池さんからは「駅前支部では感染症禍以降繰返し相談会を開催してきました。とても厳しい情勢ですが今後も相談活動を引き続き行っていきます。」と決意表明。今後も駅前支部では新体制で引き続き運動をして行きます。



### 感染症禍に負けず支部総会開催！ 〜黒埼支部総会へ

感染症禍での苦境の中だからこそ支部において今後の活動に取り組むべきと役員会で協議され、今月3日に黒埼支部総会が開催されました。

来賓挨拶で藤崎副会長は「各種支援金等で会内では活動成果を上げている。その力を会外の周りの同業者へ周知し、地域へ民商をアピールして行こう。」と発言。参加者の共感を得ていました。支部活動報告では2年連続会員増勢で総会を迎えられたことや感染症対策相談会、インボイス制度学習会等の開催、また新入会員を含めた若手の配布集金グループが組織されたことなどが報告され、今後も引き続き支部集金開催等を意識し組織を推進することが確認されました。その後の懇親会でも盛り上がり、竹内副支部長は「未だ終息の兆しは見えないが、今後は助け合いが必須の時代になる。A1にも真似は出来ない。民商の真価を発揮するとき。」と力強い発言がされていました。



**消費税インボイス制度の実施中止を**

**署名をまわりの民ひろむらひ**

新型コロナウイルスの影響が続くなか、2023年10月からインボイス制度(適格請求書等保存方式)が実施されようとしています。まず今年の10月1日からインボイス発行事業者の登録申請が始まります。このインボイス発行事業者に登録すると消費税免税業者の場合、消費税申告をしなければなりません。もし、消費税免税業者がインボイス発行事業者に登録しないとすると取引の対象から外される可能性が高くなります。他の中小企業団体や税理士団体も「凍結」「延期」「見直し」を表明しています。税制で商売がつぶされないためにも「消費税インボイス制度の実施中止を求める請願署名」をまわりに声をかけて集めましょう！

消費税インボイス制度の実施中止を求める請願

【請願趣旨】  
新型コロナウイルス感染症の収束や景気回復が見込まれ、2023年10月からのインボイス制度(適格請求書等保存方式)の開始に向け、今年10月1日からインボイス発行事業者の登録申請が始まろうとしています。消費税免税業者を取引から排除しないインボイス制度は、事業者間の取引を促し、売上の可視化を促進的に実施するものです。仕入れや経費に含まれる消費税を価格や年間に転嫁できない場合は、ベンチャーもスタートアップも苦手です。コロナ禍で増減、自営業者を余儀なくされ、地域経済が疲弊する中で、中小企業・自営業者の経営が厳しくなっており、インボイス制度に反対できる状況ではありません。多くの中小企業団体や税理士団体も「凍結」「延期」「見直し」を表明し、現状での実施に踏み掛かることに賛意を示しています。新型コロナウイルス感染症を克服し、新しく構築すべき経済・社会においても、地域に根ざして活動する中小企業等の存在が不可欠です。「税制で商売をつぶすな」の願いを込め、以下の事項を請願します。

【請願事項】  
一、消費税のインボイス制度は実施を中止すること。

氏名	住所

全国商工団体連合会(取扱団体)

**新潟県事業継続支援金(飲食関連事業者)**

給付金額：20万円(複数店舗経営は40万円)

対象者：県内の飲食店に商品・サービスを提供している業者(食材等卸売業・タクシー・代行業等)  
※タクシー・代行業の場合は公安委員会の認定を受けていること

支給要件：令和2年12月～令和3年8月までの期間で売上が2ヶ月連続して20%以上減少(前年同月比)

必要書類：①申請書・誓約書 ②申告書の写し ③売上の減少がわかる書類 ④本人確認書類の写し ⑤通帳の写し ⑥飲食店との取引が確認できる書類の写し ⑦事業に必要な許認可等の取得がわかる書類の写し

受付期間：9月30日まで

**記帳会でできたつながりが家族ぐるみに  
大形支部記帳会**

毎月、昼1回・夜1回と定例で開催している大形支部の記帳会。参加者同士のつながりが深まる中で話は記帳だけにとどまらず、さながら「班会」のようです。



6月28日の夜に開催した記帳会には8名が参加。いつもより参加者が多いのは、出産のために休んでいた松橋さんが久しぶりに参加するためです。しつかり者の武部さんですらパソコンのアダプターを忘れるなど、みんなの興味は記帳よりも双子の赤ちゃん一色。松橋さん夫婦と赤ちゃんが遅れて登場すると、みんな記帳そっこのけで赤ちゃんに首ったけ。代わるがわる抱っこしながら出産が無事に済んだことを喜び合いました。

松橋さん夫婦が早めに帰ると、やっと記帳会に。初めて参加した八鍬さんは領収書整理、この2月から記帳を始めた太田さんは出納帳、ベテランの長崎さんは注記表にチャレンジなど、和気あいあいとスキルアップに励んでいました。次回の大形の記帳会は7月20日(昼)、7月26日(夜)に新商連会館で開催します。

**※母親大会物資在庫※**

小豆島そうめん	80個
小豆島ひやむぎ	19個
干しいたけ	52個
焼きのり(20枚入り)	43個
スープ	57個
熊本の万能茶	23個
オニザキのゴマ	30個
ひじきごはんのもと	11個
八女茶(煎茶)	4個
粟国の塩	0個

- コーン 20個
- クラムチャウダー17個
- パンプキン 18個
- ジャガイモ 2個

**スープ再入荷!!**

沖縄名産品!  
塩完売しました